



# 楓の誉

R6.10.28(第7号)  
文責：高田 幸伸

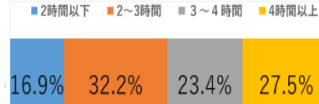
**前期の振り返りをしました**  
生徒アンケートより

十月十一日(金)、前期終業式をオンラインで実施しました。そのなかで生徒にとった前期の振り返りアンケートをもとに話をしました。

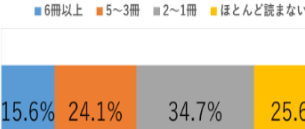
**問1** あなたの家庭学習時間はどれくらいですか。



**問3** あなたのメディア視聴時間はどれくらいですか。

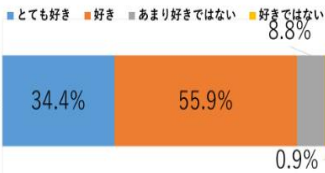


**問2** あなたは、1か月でどのくらい本を読んでいますか。

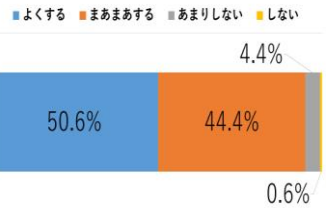


ちなみに、前期図書館で本を借りたのは一人当たり  
→ 3.95冊です。

**問4** あなたは、今のクラスが好きですか。



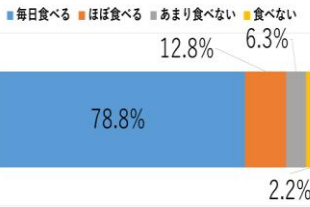
**問5** あなたは、近所の人にあいさつをしていますか。



**問7** あなたは、自分のことが好きですか。



**問6** あなたは、朝食を食べていますか。



しています。

問2では、平均すると一か月に約三〜四冊くらい読んでいます。電子書籍等も活用して、月六冊以上を目標にしていきたいでしょう。

問3では、約四分の一の生徒が一日四時間以上メディアを視聴していると回答しました。視聴内容の詳細は不明ですが、平日で考えると睡眠時間八時間、学校の滞在時間(自宅発着)十一時間とすると残りは、五時間です。在校時間を含め効果的な時間の使い方を提示しました。

問1の家庭学習の時間では、学年が上がるにしたがって家庭学習の時間が長くなる傾向がありました。また学習時間の目安として、一年生は八十分、二年生は九十分、三年生は百分を目指すことを提案しました。これは、合志楓の森中学校区「育ちのものさし」に示

問4では九割以上の生徒が肯定的な回答でしたが、「そうではない」と回答した生徒もいます。日々のかかわりや教育相談等を通して、ご家庭と連携しながら不安等の解消に努めていきます。

問5では、九割五分の生徒が肯定的な回答でした。さらに「挨拶を活発にして日頃の感謝を伝えよう」と提案しました。

問6では、九割以上が「毎日食べる」「ほぼ食べる」と回答しましたが「食べない」生徒も二パーセント以上いました。朝食は、一日の活動の源です。少しでも食べるように提案しました。

問7では、肯定的な意見は、約八十八%でした。思春期に差し掛かり、心身ともに揺れ動くことがある時期ですが「あなたは何よりも大切な存在である」ことを伝えました。また、クラスメイトの良さやお互いをさらに知り合うように日常の取組を進めていくことを提案しました。

そして最後に各学年の目指してほしいことを提案しています。

○一年生…「からをやぶる」(集団宿泊のテーマでもありました。)

○二年生…「最高学年への準備をしよう」(楓の森中の顔へ)

○三年生…「卒業、そして自立に向けて」(みんなで進路選択へ)

後期始業式の時点で、三年生の登校日は残り八十八日、一・二年生は九十八日です。一日二十四時間を効果的に使い、努力を積み上げることを話しています。

※学校生活の様子や様々な情報は、本校HPに随時、掲載しています。



学校HPのQRコード